

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	高齢者子宮頸癌に対する根治的放射線治療の治療完遂性および治療成績に関連する予測因子に関する後ろ向き観察研究
当院の研究責任者 (所属)	山形 航 (琉球大学病院放射線科)
他の研究機関および 各機関の研究代表者	該当なし
本研究の目的	当院で70歳以上の子宮頸癌に対して根治的放射線治療または化学放射線療法を受けた患者さまを対象に、治療前に得られる臨床的因子、CTから得られる各種画像指標、栄養関連指標が、治療完遂性や治療成績とどのように関連するかを後ろ向きに検討します。あわせて、これらの指標が高齢者における治療耐容性や予後の評価に有用であるかを検討します。
研究実施期間	研究機関の長の許可を受けた日～2027年12月31日
調査データ(該当期間)	2018年4月～2026年3月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま 当院で70歳以上の子宮頸癌に対して根治的放射線治療または化学放射線療法を受けた患者さま</p> <p>●利用する情報</p> <p>1 基本情報 年齢、性別、身長、体重、BMI、PS (ECOG または KPS)、既往歴、併存症</p> <p>2 疾患情報 診断日、病理診断、FIGO stage、TNM 分類、組織型、腫瘍径、リンパ節転移の有無、画像所見</p> <p>3 栄養・炎症関連情報 Alb、Hb、Cre、eGFR、総リンパ球数、総コレステロール、</p> <p>4 画像指標 治療前CTから得られる各種画像指標(身体組成指標、筋量指標、骨密度指標、血管石灰化指標等)。具体的には、必要に応じて腸腰筋 volume、L3 椎体レベルでの大腰筋面積・骨格筋面積、身長補正指標、CTによる骨密度評価、大動脈石灰化評価などを含む。</p> <p>5 治療情報</p>

	<p>RT 単独/CCRT の別、外部照射線量・分割、腔内照射回数・線量、HDR-IGBT 施行の有無、boost 照射の有無、治療中断の有無と理由、総治療期間 (OTT)</p> <p>6 線量情報 HR-CTV D90、IR-CTV D90、直腸 D2cc、膀胱 D2cc、S 状結腸 D2cc、小腸/腸管 D2cc 等</p> <p>7 治療効果・安全性 最良治療効果 (CR/PR/SD/PD/NE)、効果判定日、急性・晩期有害事象 (CTCAE)、Grade 3 以上有害事象の有無</p> <p>8 予後情報 最終確認日、生死、死亡日、骨盤内増悪日、遠隔増悪日、再発の有無、OS、PFS、PPFS</p> <p>9 その他 上記以外に論文作成時に必要な項目が判明した場合には、対象症例の個人が特定されない範囲で追加収集を行います。</p>
<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>該当なし</p>
<p>試料・情報の二次利用</p>	<p>本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。二次利用を行う際は再度倫理審査委員会の承認を得たうえでを行います。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>個人情報と関係のない符号または番号を付して匿名化し、必要なデータだけを電子カルテなどから抽出します。抽出されたデータは琉球大学病院放射線部の鍵付きの保管場所またはアクセス権が制限された端末で管理します。学会発表の際には個人が特定できる情報は一切用いません。</p> <p>◇本学での対応表の管理方法 放射線科 山形 航が、放射線治療部の鍵付きの保管場所またはアクセス権が制限された端末で管理する。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究にかかる費用は少額なため、運営交付金又は講座研究費からこれを拠出いたします。</p> <p>本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとします。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>電話：098 894 1426 担当者：放射線科 山形 航</p>
<p>備考</p>	